

神明の花火大会事業（情報提供）

本町の花火の生産は千年の歴史を誇る市川和紙の技術と経済力を基盤に発展してきました。県下最大規模のスケールを誇る「神明の花火大会」は令和5年度で35回目を迎え、地場産業の県内外に向けた大きなPR事業となっています。

令和5年度より独立採算型の経営へと移行し、地域への経済効果も多額であることから、継続が必要な事業であり、将来を見据える中で自走可能な大会組織運営を目指していきます。



- ◆ 第35回神明の花火大会実績（速報値）
収入合計：1億15百万円
収支差引：8百万円
経済効果：24億4千万円

【町からの支出】 7百万円（A）
運営費補助金：4百万円
打上花火委託料：3百万円

【町への寄付等】 8百万円（B）
補助金返還：4百万円
町への寄付金：4百万円

【町としての収支】 **+1百万円**（B-A）